

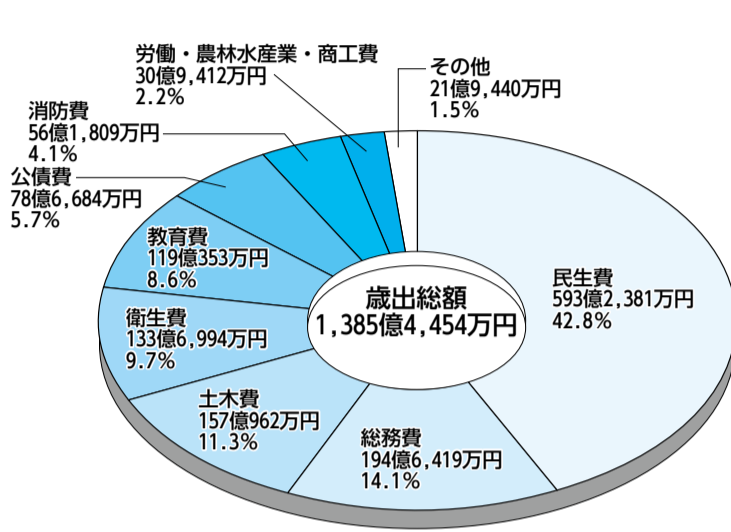
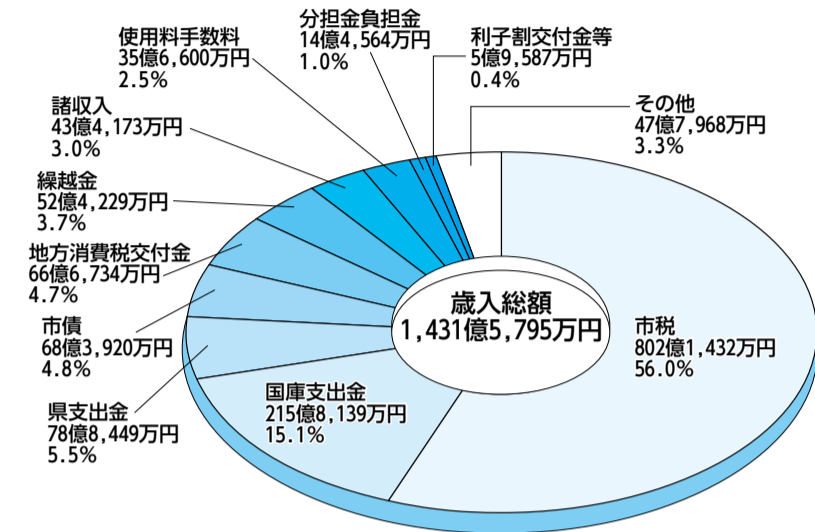
# 2016(平成28)年度 決算のあらまし

2016(平成28)年度の一般会計および特別会計の決算が、10月6日に市議会で認定されましたので、お知らせします。  
問い合わせ 財政課☎内線2302、FAX(50)8405

## 2016(平成28)年度一般会計決算状況

### 一般会計・特別会計とは？

「一般会計」とは、市の予算のうち、福祉・教育・土木など行政運営に必要なお金の会計のことです。これに対し、国民健康保険事業や下水道事業など特定の事業のお金は「特別会計」として、別に会計しています。



### 歳入は前年度より約25億円増加しました

歳入の根幹をなす市税収入は、固定資産税の増などで、総額で802億1,432万円、前年度に比べ0.7%の増収となり、市税収入以外では国庫支出金などが増となったことなどから、歳入全体では前年度に対し1.8%、25億3,718万円の増収となりました。  
※地方消費税交付金の消費税引き上げによる増収分については、年金・医療・介護・子育て、その他社会保障施策に使われています

### 歳出は前年度より約32億円増加しました

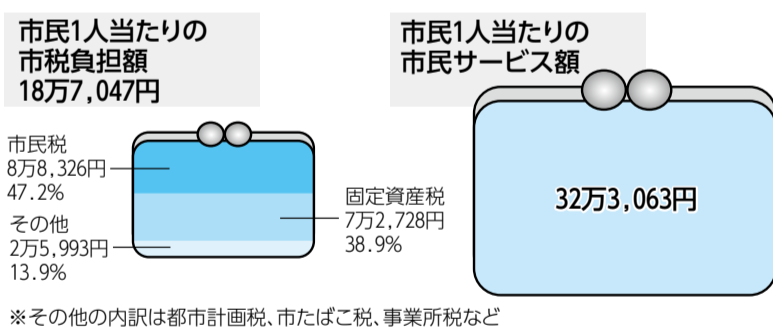
歳出では、市民ニーズに応えながらもコストを意識し、経費節減に努めましたが、庁舎等整備費、年金生活者等支障臨時福祉給付金、老人福祉施設建設助成費などが増加したため、前年度に対し2.3%、31億6,606万円の増加となりました。

### 市の借金は全体で約1,342億円です

道路・学校などの公共施設を整備するために、国などから借り入れる資金を市債といいます。2016年度に借り入れた市債は、一般会計で68億3,920万円、全会計では110億8,500万円です。また借り入れた市債の年度末残高(元金)は、一般会計で656億1,417万円、全会計では1,342億68万円となり、前年度と比較してそれぞれ3億7,915万円、18億1,639万円減少しています。  
全会計の市債残高を市民1人当たりになると31万2,934円となります。

## 市の決算を「市民1人当たり」で考えると？ 税金の負担額は約18.7万円、市民サービス額は約32.3万円です

市税収入総額を人口(2017年3月31日現在428,846人)で割り算すると、市民1人当たりの市税負担額は18万7,047円と算出できます。  
また一般会計歳出総額を人口で割り算すると市民1人当たりが受けた市民サービス額は32万3,063円と算出できます。



身近な例で考えてみましょう

### 藤沢市の財政を家計に例えると

一般会計決算の規模を家庭の家計簿に当てはめてみました。年収を500万円とすると…

【収入】	
給料(市税収入など)	355万円
住宅ローン借入(市債借入)	25万円
その他臨時収入(国庫・県支出金など)	120万円
【支出】	
日常生活費(人件費・扶助費・物件費など)	403万円
住宅ローン返済(公債費)	30万円
家財購入・修繕(投資的経費など)	57万円
貯金(積立金)	10万円

家庭の家計簿と市の財政では、お金の使い道が違うので単純に比べられませんが、一般会計決算を家計に例えると、年間500万円の支出のうち、日常の生活費に403万円、住宅ローン返済に30万円を充てていることとなります。

議会費(市議会の運営)	1,524円
民生費(児童・高齢者・障がい者の福祉)	13万8,334円
農林水産業費(都市農業・水産業の振興)	1,099円
消防費(消防・救急活動)	1万3,100円
総務費(戸籍・住民・課税事務など市役所の運営)	4万5,387円
衛生費(市民の健康の維持増進、ごみ処理)	3万1,177円
商工費(商工業・観光の振興)	4,574円
教育費(学校・社会教育、スポーツ振興)	2万7,757円
環境保全費(生活環境・みどり・安全対策・公害防止)	3,593円
労働費(勤労者福祉、就労支援)	1,542円
土木費(都市計画、道路・公園整備、住宅)	3万6,632円
公債費(市債の償還)	1万8,344円

※数値については、その積み上げと合計が一致しない場合があります  
※今年度も本市の財政状況を分かりやすく解説した「わかりやすい藤沢市の財政」を作成する予定です

## このような事業に重点的に取り組みました

- 総務費**
  - 防災備蓄資機材の整備、防災ラジオの市民頒布、津波避難対策の強化など 1億75万円
  - 市北部の市民活動拠点施設「市民活動プラザむつあい」を開設・運営 1,285万円
  - 東京2020大会セーリング競技開催に向けた準備、ボランティアに関する計画策定やイベントなどを実施 2,239万円
  - 気軽に立ち寄れる身近な居場所と相談の場として「地域の縁側」を整備 1,669万円
  - 善行市民センター・辻堂市民センターの改築基本設計などを実施 3,917万円
- 環境保全費**
  - 小田急線沿線の法面防護工事、土砂災害警戒区域内の市有山林の法面防護のため詳細設計・二次調査を実施 1億8,606万円
  - 不法投棄防止対策として、夜間監視業務・24時間の通報受付業務や落書き防止・消去活動などを実施 124万円
  - 藤沢市地球温暖化対策実行計画の見直し 329万円
  - 特別緑地保全地区に指定を計画している石川色子地区の現況を測量 976万円
  - 太陽光発電システム・定置用リチウムイオン蓄電池などの設置・燃料電池自動車購入に対し補助 2,447万円
- 民生費・衛生費**
  - 藤沢型認定保育施設の基準を満たした施設に対し運営費などを助成 6,372万円
  - 藤沢型地域包括ケアシステムの実現に向けた協働体制の構築・普及啓発 104万円
  - 認可保育所などの施設整備に対する補助 2億571万円
  - 2カ所の放課後児童クラブの新設、58カ所の運営 6億4,341万円
  - 養育環境などに課題がある家庭の子どもが安心して夜を過ごせる居場所を提供 614万円
  - 社会福祉法人の特別養護老人ホームの施設整備に対する補助 9億9,470万円
  - 地域密着型の介護サービスを新たに実施する事業者に対し整備・開設準備経費を補助 1億2,617万円
  - 障がい児者・家族を支援するため幹幹相談支援センターの相談員を増員 1,930万円
  - コミュニティソーシャルワーカーなどの配置、湘南大庭地区に新たに学習支援事業の実施拠点を増設 4,152万円
  - 北部環境事業所の焼却施設事業者募集の準備、周辺環境への影響調査 3,266万円

## 2016年度に実施した主な事業(継続事業を含む)は次の通りです。

- 労働費**
  - 藤沢公民館・労働会館等複合施設建設工事 2億3,961万円
  - 障がい者雇用促進事業として「JOBチャレふじさわ」を実施 1,230万円
- 商工費・農林水産業費**
  - タイの国際旅行博覧会への出展、外国人観光客の受け入れ体制を推進する多言語サイトの運用、「夜景サミット」の開催 465万円
  - 江の島島内のバリアフリー化に向けた基本計画を策定 702万円
  - 生活支援ロボットの普及啓発、ロボット産業への参入などの推進 2,561万円
  - 「健康と文化の森」地区の農業振興策を検討 299万円
- 土木費**
  - 市内公園の土砂災害警戒区域内に位置する法面防護のための詳細設計・二次調査 3,261万円
  - 健康の森保全再生事業などの実施、特別緑地保全地区の指定に向けた現況測量など 2,608万円
  - 善行地区などの地域公共交通に関する支援・利用促進を実施 889万円
  - 防災上の重要路線の耐震化のため、建築物の診断費用を補助 601万円
  - 市営住宅の改修工事、市営鶴沼住宅の津波避難階段の設置工事など 2億638万円
  - 藤沢駅北口デッキリニューアル詳細設計、エスカレーター設置・再整備工事など 5億6,519万円
  - 街なみ継承地区内の舗装改修工事と、歴史的建造物の保全に対する補助 2,938万円
- 消防費**
  - 北消防署遠藤出張所の新設、人員教育・車両・資機材などの整備 7億479万円
- 教育費**
  - スクールカウンセラーの増員、配置日数の拡大 7,508万円
  - 小糸・石川小学校で情報機器を活用した授業手法の研究や電子黒板の導入 1,183万円
  - 御所見・大庭・高倉・大清水中学校で給食開始のための配膳室を整備 3,382万円
  - 第30回ビーチバレージャパンの記念事業・関連イベントを開催 100万円
  - 小学校9校に児童支援担当教諭を位置づけ、市費講師を配置 679万円
  - 大庭中学校のトイレ改修工事、村岡中学校の外壁改修工事 1億2,802万円

## 2016(平成28)年度特別会計決算状況

	歳入		繰越財源C	実質収支額 A-B-C
	収入済額A	支出済額B		
一般会計	1,431,579,595,000円	1,385,454,454,000円	3億8,206万円	42億3,135万円
北部第二(三地区)土地区画整理事業費	25億 189万円	21億3,731万円	340万円	3億6,118万円
墓園事業費	6億3,336万円	6億1,032万円	0	2,304万円
国民健康保険事業費	475億4,863万円	446億6,270万円	0	28億8,593万円
柄沢特定土地区画整理事業費	8億2,363万円	6億3,465万円	0	1億8,898万円
湘南台駐車場事業費	9,575万円	9,575万円	0	0
介護保険事業費	263億5,688万円	254億6,212万円	1,313万円	8億8,163万円
後期高齢者医療事業費	53億8,958万円	52億5,238万円	0	1億3,720万円
小計	833億4,972万円	788億5,523万円	1,653万円	44億7,996万円
下水道事業費(公営企業会計)	収益 127億2,834万円 資本 37億3,982万円	120億5,314万円	-	-
市民病院事業(公営企業会計)	収益 178億9,286万円 資本 16億3,656万円	189億2,592万円	-	-

※地方公営企業法が適用される下水道と市民病院の2つの公営企業会計では、施設整備などの財源として表に示した収入以外に減価償却などに伴い発生した資金を充当しています

### 主な特別会計の決算概要

2016(平成28)年度の特別会計は9会計ありますが、市民の皆さんに開わりの深い4会計の決算概要をお知らせします。

被保険者の疾病・負傷・出産などに対する保険給付費は前年度より4.3%、約11億7,000万円の減少となりました。歳入に占める保険料収入の割合は21.3%です。保険給付費総額を年間平均被保険者1人当たりで見ると26万8,959円でした。	保険給付費 264億1,013万円
後期高齢者支援金など 53億4,703万円	介護納付金・総務費ほか 129億 554万円
<b>歳出合計</b>	<b>446億6,270万円</b>
国民健康保険料 101億3,841万円	国庫・県支出金 98億5,949万円
交付金・繰入金ほか 275億5,073万円	
<b>歳入合計</b>	<b>475億4,863万円</b>

区画整理事業区域および御所見地区をはじめ延長2,248.02mの下水管を築造したほか、鶴沼西部1号吐口ゲート他遠方操作設備工事などを行いました。年度末の人口普及率は95.5%となりました。企業債の年度末残高は545億6,028万円でした。	建設費 28億3,287万円
企業債償還金および利息 63億8,595万円	維持管理費ほか 105億5,619万円
<b>支出合計</b>	<b>197億7,501万円</b>
下水道使用料 58億6,605万円	国庫・県支出金 4億5,804万円
繰入金・企業債ほか 101億4,407万円	
<b>収入合計</b>	<b>164億6,816万円</b>

安心して受けられる医療の提供に努めるとともに、市民病院再整備事業では東館の建設を進めたほか、医療器械の更新などを行いました。入院患者数は延べ16万9,330人、外来患者数は延べ33万5,231人となり、一般病床530床に対する病床利用率は87.5%でした。	医薬費用 180億1,102万円
資本的支出 18億7,784万円	医薬外費用ほか 9億1,490万円
<b>支出合計</b>	<b>208億 376万円</b>
入院収益 110億1,860万円	外来収益 47億5,889万円
繰入金・その他医業収入ほか 37億5,193万円	
<b>収入合計</b>	<b>195億2,942万円</b>